

# 畜産ニュース

## ◎岡山県下の昭和 38 年度秋ビナふ化状況

昭和 39 年 3 月 25 日、農林省岡山統計調査事務所の発表によると、昭和 38 年秋ビナ（7～12 月）の人工ふ化総発生羽数は表の如く、672 万羽で、前年同期と比較すると 27.3%増となっている。

これを品種別にみると白レグ、ロックホーンが相変わらず多いが、近年卵専用種は相対的に減少して、兼用種、1 代雑種が増加の傾向にある。

また出荷は発生ビナの殆んどが出荷されており、県内に 38%、残り 62%が県外に移出されている。出荷も全国各県に及んでいるが、特に広島、大阪、福岡の各県に多い。

岡山県の昭和38年秋ビナ発生状況（単価 100羽）

区 分	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	
総発生羽数	9,662	10,023	11,587	12,744	11,021	11,868	67,205	
鑑別したもの	メス	4,176	4,382	5,001	5,231	4,572	4,787	28,149
	オス	4,264	4,454	5,034	5,271	4,355	4,905	28,283
月別発生割合%	14.8	14.9	17.2	19.0	16.4	17.7	100.0	
前年対比%	136.4	116.5	116.5	127.0	140.7	130.6	127.3	

## ◎岡山県成鶏メス羽数と産卵量

農林省統計調査部が昭和 39 年 3 月 27 日公表した成鶏メス羽数と産卵量に関する統計によると、成鶏メス羽数は昭和 38 年 10 月 7,799 羽（前年対比 103.1%）11 月 8,284 万羽（107.7）12 月 8,442 万羽（109.6）、1 月 8,306 万羽（111.9）といずれも前年より増加している。一方卵量も前年より 4%から 12%増加している。

岡山県成鶏メス羽数、産卵率、産卵量

区 分	9 月	10 月	11 月	12 月
羽 数 (千羽)	2,747	2,884	2,999	3,174
産卵率 (%)	59.5	50.8	51.9	56.1
産卵量(百万個)	49.0	45.4	46.7	55.2

## ◎岡山県家畜人工授精師協会設立さる

県下の人工授精師が昭和 39 年 4 月 28 日、岡山県庁 9 階ホールに 160 人集まり、岡山県家畜人工授精師協会を設立し、会長に惣津律士氏、副会長に赤峰和男、渡辺力の両氏、その他理事、監事を選任した。なお学識経験者理事として出口畜産課長、西村獣医師会理事を選任した。この協会は人工授精師の社会的地位を確立し、県下に適正に配置、技術の向上、組織の確立、生産指導の強化、全国組織への加入に努力するものである。

## ◎家畜人工授精講演会を開く

県畜産課では酪農試験場で家畜人工授精（牛）講習会を、5 月 11 日から 20 日迄の 10 日間開催する。この受講者は県下の人工授精師の少ない地域より 30 名集めて行なうものである。